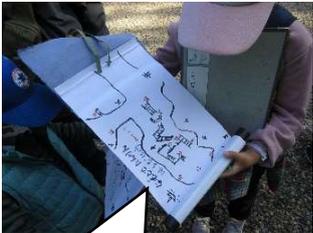




令和2年度 はまだっ子共育推進事業実践事例

自治区	公民館名	活動名 ～活動主体・エリア～	分類	頁
浜田	浜田公民館	謎解き探検！浜田城 ～浜田公民館エリアの小学生とその保護者～	ふるさと郷育 家庭教育支援	1
	石見公民館	ごみ減らし大作戦 ～石見公民館エリア地域 住民 石見小学校4年生 浜田市環境課～	地域学校協働 プログラム	2
	長浜公民館	ランタンまつりでみんなのまちを盛り上げよ う～地域住民、長浜小学校児童と保護者～	地域学校協働活動 家庭教育支援	3
	周布公民館	かけがえのない“海”を知ろう！ ～周布小学校の児童及び保護者・地域住民～	ふるさと郷育 海洋教育	4
	美川公民館	ふるさと愛あふれる自然体験活動、稲作活動 ～四中校区エリア 幼・小・中・地域～	ふるさと郷育 地域学校協働活動	5
	大麻公民館	折居海岸・海浜清掃ボランティア ～地域（自治会）、第三中学校、県立大学～	ふるさと郷育 地域学校協働活動	6
	国府公民館	浜田東中校区地域学校協働会議～国府地区4校 と公民館（地域）～	地域学校協働活動	7
金城	雲城公民館	わくわくがいっぱいこどもまんなかつながる ひろば ～親子で体験 防災訓練～	家庭教育支援 まちづくり	8
	今福公民館	今福児童クラブ×今福小学校地区3公民館連 携夏休み事業 『熊の出前講座』	放課後子ども活動 ふるさと郷育	9
	波佐公民館	夏休みに“まなびや館”で体験しよう ～地域住民と波佐小学校1～6年生～	ふるさと郷育 休日子ども活動支援	10
	小国公民館	おぐにふるさと学校★親子で家族で生き物観 察・川遊びをしよう★～雲城小学校対象～	ふるさと郷育 家庭教育支援	11
	久佐公民館	案山子作り交流会 ～久佐公民館エリアの保護者と小学生～	ふるさと郷育 家庭教育支援	12
	美又公民館	カップ伝説の干し大根づくり♪&昔ながらの 臼と杵でもちつき♪～地域住民と市内親子～	ふるさと郷育 家庭教育支援	13
旭	今市公民館	お米の秘密探検隊～稲作体験学習・生産者から 話を聞く（坂本米）～旭小学校5年生～	地域学校協働活動 ふるさと郷育	14
	木田公民館	わんぱく道場 親子で芋掘り体験！ ～旭5館連携事業～	ふるさと郷育 家庭教育支援	15
	和田公民館	ふれあい集会～4団体協働事業（子ども会・地 区社協・食改・公民館）～	まちづくり ふるさと郷育	16
	都川公民館	都川の棚田学習 ～都川地区住民と旭小学校～	地域学校協働活動 ふるさと郷育	17
	市木公民館	市木探検 ～地域住民と旭小学校2年生～	地域学校協働活動 ふるさと郷育	18
弥栄	杵束公民館	弥栄の未来を考える～持続可能なまちづくりに 私たちができること～弥栄中学校1年～	地域学校協働活動 まちづくり	19
	安城公民館	放課後子ども教室 マジスクール ～弥栄小・中学生～	勉強の場所づくり 放課後子ども支援	20
三隅	三隅公民館	第4回防災フェスタ ～三隅地区まちづくり推進協議会・三隅地区～	まちづくり 休日子ども活動支援	21
	三保公民館	きらめき！子ども体験教室 「イルミネーショ ンの飾りを作ろう」～地域住民と三隅小児童～	ふるさと郷育 休日子ども活動支援	22
	岡見公民館	お月見どろぼう ～岡見公民館エリアの地域住民～	ふるさと郷育 休日子ども活動支援	23
	井野公民館	井野に出かけよう！ ～三隅小学校1年生・井野地内～	地域学校協働活動 ふるさと郷育	24
	黒沢公民館	古くから地域に伝わりとんど焼き ～黒沢に地縁のある住民とその子ども達～	ふるさと郷育 まちづくり	25
	白砂公民館	西条柿の魅力本を作ろう！（副読本） ～白砂地域内 西条柿生産者・公民館～	地域学校協働活動 ふるさと郷育	26

# 1 浜田公民館（ふるさと郷育・家庭教育支援）

<p>【活動名】 【活動の主体・エリア】</p>	<p style="text-align: center;"><b>謎解き探検！浜田城</b> ～浜田公民館エリアの小学生とその保護者～</p>
<p>【めあて・目標】</p>	<p>楽しみながら、自分たちの住む地域にある浜田城の歴史を学ぶと共に、浜田城資料館や城山公園に親しみ、若い親子世代にふるさとへの愛着をもってもらう。</p>
<p>【子どもたちに身に付けさせたい力】</p>	<p>ふるさと愛・思考力・行動力・コミュニケーション力</p>
<p>日時：令和2年11月8日(日) 9:00～12:00 場所：浜田城資料館・浜田城跡（城山公園）</p> <p>地域に住む小学生親子を対象に『謎解き探検！浜田城』を行いました。浜田城資料館を見学後、浜田城跡へ上がり、巻物の地図を手がかりに親子で協力し、頭と身体を使って浜田城に関わる謎解きに挑戦しました。事前にスタッフで現地の下見や打ち合わせを重ね、危険箇所や注意事項・子どもたちに身に付けさせたい力を共有し、当日はしっかりと活動を見守る事ができました。</p> <p>天気にも恵まれ、子どもたちは軽い足取りで城山を登りキーワードを見つけ、親は「早い～待って～」と必死についていき、元気な声が響き渡っていました。キーワードを集め、最後の謎解きまで全員クリアすることができ、達成感を味わうと共に、親子で楽しみながら自分たちの住む地域についてたくさん学び、より愛着をもつきっかけとなる事業になりました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="167 1211 480 1444">  <p>巻物に書かれた地図を頼りに謎解きスタート！</p> </div> <div data-bbox="523 1205 863 1346"> <p>案内板の説明をしっかりと読んで、キーワードになる答えを探しています。</p> </div> <div data-bbox="884 1205 1224 1346"> <p>特別に甲冑を着させてもらい薙刀を持って写真撮影もしました。</p> </div> <div data-bbox="1098 631 1428 875">  <p>当日もスタッフ打ち合わせをしっかりと行いました。</p> </div> <div data-bbox="1187 983 1428 1305">  </div> <div data-bbox="1007 1335 1417 1585"> <p>感想 今日はいそいそお世話 もらったり、浜田城(亀山城) のことで探検をした。ふつうはできない ことが楽しめました。 浜田城をまた見ていけ たいです 【感想シート】</p> </div> </div>	
<p>講師ボランティア 関わった団体・ 組織・機関等</p>	<p>浜田市観光ボランティアガイドの会 3名・浜田公民館運営推進委員 5名 生涯学習課 2名・文化振興課 2名・浜田手作り甲冑愛好会 4名 浜田城資料館 2名</p>
<p>振り返り (良かったこと、 反省点 など)</p>	<p>打ち合わせを何度か実施することで、地域の様々な団体と繋がり一緒に活動することができた。</p> <p>また、地域の浜田城資料館を活用するとともに、ゲーム感覚で学ぶ事で、参加者が、自分の住んでいる地域に興味・関心を持つことができた。</p> <p>謎解きゲームを通して親子のコミュニケーションをはかることができた。</p> <p>もう少し情報発信方法を工夫し、よりたくさんの子（親子）に参加してもらい地域に愛着をもってもらえるようにしていきたい。</p>

## 2 石見公民館（地域学校協働プログラム）

<p>【活動名】 【活動の主体・エリア】</p>	<p><b>ごみ減らし大作戦</b> ～石見公民館エリア地域住民 石見小学校4年生 浜田市環境課～</p>
<p>【めあて・目標】</p>	<p>ごみの量や処分の仕方を調べる活動を通して、環境に与える影響や消費活動のあり方を学び、物を最後まで扱おうとする心を育てるとともに、ごみを減らす工夫を考え、地域に発信していこうとする態度を育てる。</p>
<p>【子どもたちに身に付けさせたい力】</p>	<p>郷土愛、向上心 地域の良さを知り他者に伝える。 地域に貢献できることを考え行動しようとする。</p>
<p>活動日時・場所：令和2年10月6日～12月17日（計5回） 石見小学校 4年生教室、体育館、校庭 石見小学校の地域学校協働プログラム。昨年度に続き2年目の活動～4年生が、浜田市環境課、ごみ処分場スタッフ、地域住民から話を聞いたり、調べたりすることから、ごみを減らす工夫を考え、実践する。</p> <p>◆ 打合せ：10/6 石見小 参加者：4年部担任、教頭、環境課職員、CNの5名～総合的な学習の時間の計画案を基に、学習課題、進め方、担当や役割、地域の関わり方などを打合せ、準備を進める。</p> <p>◆ プログラムの内容</p> <p>① ごみが増えるとなぜいけないの（10/13）～環境課(森下さん)と</p> <p>② ごみが増えると困ることを考えよう（10/19）～環境課、リサイクルセンター職員が来校し、校庭でパッカー車体験とごみ処理の話</p> <p>③ ごみを減らすためのヒントを考えよう（10/30）～地域住民とグループワーク。 昔の暮らし方、ごみ処理をどのようにしていたかについて児童からの質問に答える。（事前に質問内容をまとめて地域の方にお渡しする）</p> <p>④ わが家のごみ減らし大作戦を考えよう（11/6）～環境課と(ごみの分別、捨て方、食品ロスについて) →この後、児童は各家庭において大作戦を実践。</p> <p>⑤ 実践報告会（12/17）～環境課職員2名、③に参加した地域住民、CNが来校し、児童の取り組みの成果について発表を聞く。地域から感想や気づきを伝える。</p> <p>◆ 地域住民の学びのプロセス</p> <p>1. 石見公民館事業、地域デビュー講座『環境について学ぼう』（10/21）～環境課職員、処分場職員の話、不燃物処理場とリサイクルセンターの見学。</p> <p>2. 1の地域住民のうち10名が4年生の学習③に参加し、自身の経験や知識をもとに児童の質問に答えて頂く。</p> <p>3. ⑤実践報告会に参加～児童の発表を聞いた後、地域から感想などを伝える。</p> <p>4. 地域の振り返り(12/23)～4年生の活動に参加した地域住民と環境課職員、感想、自身の学びや取組んでいることなどを伝え合う。この場での内容を今後まとめ、成果物を作る予定。</p>	
<p>講師ボランティア 関わった団体・組織・機関等</p>	<p>石見公民館地域デビュー講座『環境について学ぼう』参加した地域住民10名 浜田市環境課 リサイクルセンター</p>
<p>振り返り (良かったこと、反省点 など)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域より～公民館事業での学びが学校で活かされ、自身の環境への関心も高まった。自分のできることを考え取り組みを続けることが大切だと感じた。子ども達の学ぶ姿にとっても刺激を受けた。このような活動を続け、もっと大人も参加できると良い。</li> <li>・環境課より～処分場サイドはできる限り協力したいと積極的な提案もあった。連携して打合せ準備を行いたい。多忙な学校との連携には提案や打合せの工夫も必要と思う。</li> <li>・CNより～公民館事業に参加した地域住民が、その学びを学校で活かし、そこで児童と活動することで、さらに環境への意識やごみを減らす行動、次への学びに向う姿勢が伺えた。限られた時間の中で学校との協働をどのように継続していくか、また地域においても、大人の次のステップを確実に進めていく学びの場を考えたい。</li> </ul>



《グループワーク》



《実践報告会》



《地域デビュー講座》

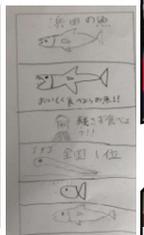


《地域の振り返り》

### 3 長浜公民館の取組（地域学校協働活動・家庭教育支援）

<p>【活動名】 【活動の主体・エリア】</p>	<p style="text-align: center;"><b>ランタンまつりでみんなのまちを盛り上げよう</b> ～ 長浜公民館エリアの地域住民 長浜小学校児童と保護者 ～</p>
<p>【めあて・目標】</p>	<p>自分達の作ったペットボトルランタンで地域を盛り上げる活動に関わり、地域の人や保護者に喜んでもらい、褒められることで自尊感情を高める。 友達同士で認め合う体験と共に、ふるさとのあたたかさに触れ、愛着を深める。</p>
<p>【子どもたちに身に付けさせたい力】</p>	<p>郷土愛・連帯感・自尊心</p>
<p>3年生児童ひとりひとりの願いや、好きな絵などを描いた紙をペットボトルに貼り、ランタンを作ります。子ども達はみんな集中して取り組み、個性豊かなランタンを作ることができました。できあがったランタンを友達同士で見せ合い、工夫した所や良い所を認め合う姿も見られました。</p>	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;">       </div> <p>夏休み中の放課後児童クラブでは、異年齢の子ども達により、豊かな発想のランタンができあがりしました。</p> <div style="display: flex; flex-wrap: wrap;">      </div> <p>ランタンまつり当日には、館内を、子ども達や地域の方が思いを込めて作った約300個のランタンでライトアップ。幻想的な雰囲気の中、訪れた親子や地域の方などで賑い、ささやかながらも夏らしい思い出を作る事ができました。</p>
<p>講師ボランティア 関わった団体・ 組織・機関等</p>	<p>長浜小学校・放課後児童クラブ「とびうお学級」・長浜地区ふくっぴーサロン・浜田市社会福祉協議会・長浜公民館教室利用者</p>
<p>振り返り (良かったこと、 反省点 等)</p>	<p>コロナ禍により、当初の企画とは違った形での開催になり、戸惑うこともあったが、ランタン作りはそれぞれの場所で行い、担当の先生方や職員の方と打合せやふりかえりの会を丁寧に持ちながら、製作を進めることができた。子ども達のアイディアに地域の方が刺激を受けられ、感心された様子や、作ったランタンを褒められて嬉しそうな子ども達の姿が印象に残った。今後も地域の様々な団体、幼稚園、保育園、学校などと連携し、活動の輪を広げていきたい。</p>

## 4 周布公民館（ふるさと郷育・海洋教育）

<p>【活動名】 【活動の主体・エリア】</p>	<p>かけがえのない“海”を知ろう！ ～周布小学校の児童及び保護者・地域住民～</p>
<p>【めあて・目標】</p>	<p>“海”を身近に感じることで、自然に抱かれた“ふるさと浜田”を知る</p>
<p>【子どもたちに身に付けさせたい力】</p>	<p>ふるさと愛（郷土の自然（海）を認識する） 思考力（課題を思考する力）</p>
<p>◎ 日 時；令和2年8月4日（火）9：00～13：00 ◎ 場 所；島根県立 浜田水産高等学校 ◎ 参加人数；周布小学校1～6年 24名</p> <p>子どもたちに「浜田の宝」である“海”を身近に感じてもらうと、島根県立浜田水産高等学校に協力してもらい実施しました。</p> <p>カッター漕艇では、一緒に漕ぐ体験もしました。「重たかったけど、お兄さんと一緒に楽しかった。」と感想がありました。</p> <p>あわしま乗船では、マリン大橋の下をくぐり「JFしまね浜田支所7号市場（高度衛生管理型荷さばき所）」周辺を巡航しました。船の中を見たり、マリン大橋を下から見たりすることができて感激しました。</p> <p>座学では、水産高校3年生が先生となり、クイズを交えながら“浜田の海”について学びました。また、後半は各班で相談しながらサバ缶のラベルを考えていきました。</p> <p>この活動を通じて、子どもたちの「海をきれいにしていきたい」「ゴミを捨てない、ごみを拾う」「ボランティア活動をしたい」など、海に対する意識が向上しました。</p> <div data-bbox="949 577 1437 817" style="background-color: #008000; color: white; padding: 5px;"> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・カッター漕艇・あわしま乗船</li> <li>・講義</li> <li>「浜田の海について」</li> <li>「サバ缶詰のラベルを考えよう」</li> </ul> </div>  <div data-bbox="933 1265 1077 1545" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ラベル(案)</p>  </div>	
<p>講師ボランティア 関わった団体・ 組織・機関等</p>	<p>島根県立浜田水産高等学校 教職員・生徒・カッター部 30名 周布公民館運営推進委員 4名、児童の保護者 6名</p>
<p>振り返り (良かったこと、 反省点 など)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・従来に増して水産教育や水産業を広く深く学ぶことができた。講義も一方的なものではなく、水産高校の生徒が講師となり、クイズを取り入れながらすることで子どもたちの興味関心が高まる工夫がなされていた。子どもだけでなく大人も一緒に楽しく学ぶことができた。</li> <li>・魚を獲るだけでなく、加工、養殖、流通など多面的にわたる学びを計画、実施していきたい。</li> <li>・自然＝生命との関わりの学習をさらに深めていきたい。</li> </ul>

## 5 美川公民館（ふるさと郷育・地域学校協働活動）

<p>【活動名】 【活動の主体・エリア】</p>	<p><b>ふるさと愛あふれる自然体験活動（田植え、稲刈り）</b> ～四中校区エリア 幼・小・中・地域が一つになっての稲作活動～</p>
<p>【めあて・目標】</p>	<p>美川地域の文化風習、自然環境(四季の移り変わり)、幼、小、中学生、地域の方との交流、稲作体験活動(田植え・稲刈り・しめ縄づくり)を通して、五感を使い学んでほしい。自分で何ができるのか考える力を育てる。 食への苦労、感謝を知り、家庭教育、ふるさと愛(地域愛)を育てる。</p>
<p>【子どもたちに身に付けさせたい力】</p>	<p>ふるさと愛、協調性、コミュニケーション力、地域力、感謝、敬意、豊かな感情、思考力、判断力、おもいやり、自尊感情</p>
<p><b>幼・小・中・合同田植え</b> 日時：令和2年5月25日(金) 9：00～11：10 場所：第四中学校前水田 参加人数：美川幼稚園9人、美川小学校5年生8人、第四中学校全学年30人、保護者9人、地域より10人 計 66人</p>	
<p><b>幼・小・中・合同稲刈り</b> 日時：令和2年9月24日(木) 9：00～12：00 場所：第四中学校前水田 参加人数：美川幼稚園9人、美川小学校5年生7人、第四中学校全学年31人、保護者8人、地域11人 計 66人</p>	
<p>自然体験活動として美川幼稚園、美川小学校5年生、第四中学校全生徒が合同の田植え、稲刈りを行った。 コロナで様々な活動が中止になる中、野外での活動である事、マスク、消毒等を徹底する事で開催した。事前に地域学校協働推進員が中心となり、公民館、学校と連携を取りながら打ち合わせを行い、生徒はもちろん地域の方もそれぞれの役割を認識し、活動を円滑に行う事ができた。また、子どもたちに身につけさせたい力である、「ふるさと愛」を第一に、熱意ある指導風景も見られた。 園児、小学生は地域の方から稲の植え方、束ね方を学び、中学生の行動を見て稲束を運ぶなど自分ができてる事を考えて行動する姿がみられた。各世代とコミュニケーションを取りながら活動できた。幼稚園の保護者も参加し、子どもの手を取りながら一緒に活動にした。</p>	 <p>習ってます。</p> <p>小学生、中学生が一行に並び、地域の方が丁寧に指導</p> <p>田植え</p> <p>稲刈り</p> <p>幼稚園児が稲を運び、中学生がハデに掛けます。</p>
<p>講師ボランティア 関わった団体・組織・機関等</p>	<p>地域学校協働推進委員、公民館運営推進員、保護者、地域住民、人数は上記にあり。</p>
<p>振り返り (良かったこと、反省点 など)</p>	<p>※協働者として保護者が参加し、子どもと一緒に汗をかき活動する事で家庭教育支援にも繋がった。 ※決まった方が応援下さる事が多い中、浜田応援団に美川公民館の取り組みを載せていただき、その中に稲作活動の様子もあり、美川以外の多くの方に知っていただくきっかけとなった。ここから美川、地域外の方でも美川の応援団として協働活動に参加いただけるように呼びかけたい。</p>

## 6 大麻公民館（ふるさと郷育・地域学校協働活動）

<p>【活動名】 【活動の主体・エリア】</p>	<p style="text-align: center;"><b>折居海岸・海浜清掃ボランティア</b> ～地域（自治会）、第三中学校、県立大学～</p>
<p>【めあて・目標】</p>	<p>少子高齢化・環境問題の取り組みの一環として学ぶ機会を持つ。</p>
<p>【子どもたちに身に付けさせたい力】</p>	<p>ふるさと愛、地域貢献（環境問題・奉仕精神・社会貢献）</p>
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>海水浴シーズン前の7月の半ば 8：30～10：00 参加人数 地域内 20名 大学生 10名 中学生 20名</p> <p>地域には折居海岸があり、「地域の海を守りたい、沢山の方々に海水浴シーズンに来てもらいたい。」という思いで、毎年夏の海水浴シーズン前には海浜清掃を行っている。</p> <p>しかし、年々、地域住人の少子高齢化が加速していき、参加者も減っていき地域住人だけの清掃活動にも限界があるため、地域の美化活動が困難となってきた。</p> <p>そんな中、大学生や地域の子どもが通う中学生に、環境問題について学びを提供しつつ奉仕活動を一緒に行った。</p>	
<p>講師ボランティア 関わった団体・ 組織・機関等</p>	<p>自治会・島根県立大学・浜田第三中学校</p>
<p>振り返り （良かったこと、 反省点 など）</p>	<p>今回、初の試みのため、定期的に活動することとはいかなかったが、地域住民と地域外の方々とが連携し活動に取り組んでいく一歩になったのではないかと 思う。</p> <p>これを機に、沢山の方々が折居海岸を知り、海水浴に来てもらう、奉仕活動に参加してもらえるように、PR等を行っていきたい。</p>

## 7 国府公民館（地域学校協働活動）

<p>【活動名】 【活動の主体・エリア】</p>	<p><b>浜田東中校区地域学校協働会議</b> ～ 国府地区4校と公民館（地域）との協働を考える～</p>
<p>【めあて・目標】</p>	<p>学校と地域との連携により子どもを育むためにどのような活動ができるかを、具体的な例を挙げて協議し今後の活動につなげていく。</p>
<p>【子どもたちに身に付けさせたい力】</p>	<p>ふるさと愛（地域のことを知る） 思考力・判断力（考える力）</p>
<p>【日時】令和2年12月14日（月）10:00～11:30 【場所】国府公民館 図書室</p> <p>毎年開催している地域学校協働会議を、今年度の会議参加者は各校の校長・地域学校協働推進員・公民館職員とし、より連携を深めることを目的にグループ協議を実施。各校の現状や地域の抱える課題などを出し合い、今後の協働に向けて具体的に話し合うことができた。</p> <div style="border: 2px solid green; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域との連携がこれから益々必要不可欠。地域の課題など、主体的に取り組んでいきたい。</li> <li>・各学校単体での活動だけでなく、学校同士の連携も含めて幅広く展開していけるような仕組み作りを。</li> <li>・地域の“柱”となる事柄に対して、各校の特色を生かしたアプローチで関わると良い。</li> <li>・この協働会議の場に、まちづくりに関わっている方にも参加の声をかけ、広く情報を得る機会にしたい。</li> </ul> </div>	 
<p>講師ボランティア 関わった団体・組織・機関等</p>	<p>浜田市立浜田東中学校 校長、浜田市立国府小学校 校長、島根県立浜田養護学校 校長、島根県立浜田ろう学校 校長、市教委生涯学習課派遣社会教育主事2名、地域学校協働活動推進員2名、公民館職員3名</p>
<p>振り返り （良かったこと、反省点 など）</p>	<p>毎月地域学校協働推進員と公民館主事とでCN会議を開催し、各校の支援依頼の内容や活動後の振り返りなど情報の共有を図っている。</p> <p>今までの活動内容は大抵が学校ごとになっており、地域住民との海岸清掃、サケの飼育～放流事業、学習支援などがあるが、今後は学校同士の交流も含めた活動にしていきたい。今回の会議で、地域住民同士が販売を通じて交流する場として立ち上げた“こくふ朝市”（毎月第1日曜開催）について、各校からも何らかの形で関わっていただけないかを提案。今後、販売や学習の発表の場として活用してもらい、より学校や地域を知っていただく場を作っていきたい。</p>

## 8 雲城公民館（家庭教育支援・まちづくり）

<p>【活動名】 【活動の主体・エリア】</p>	<p>家庭教育支援 わくわくがいっぱいこどもまんなかつながるひろば <b>親子で体験 防災訓練</b> ～雲城公民館、金城支所、くもぎコミュニティ自治会、雲城小学校の児童とその保護者～</p>
<p>【めあて・目標】</p>	<p>新型コロナ感染症を意識した避難所疑似体験を通して、防災に備える大切さや、避難所でやるべき事や、やらなければいけない事などを知ることができる。</p>
<p>【子どもたちに身に付けさせたい力】</p>	<p>自主性（自ら率先して動き、いざという時にやるべきこと）</p>
<p><b>日時：令和2年8月10日（月）9:00-12:00</b> <b>会場：みどりかいかん大集会室</b> <b>参加人数：雲城小学校区の親子5組（17名）</b></p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>コロナ禍で災害が起きた時を想定し、災害のおきやすい夏に、親子体験事業として避難所疑似体験を開催しました。事前に金城支所防災自治課と打合せをして内容の確認と段取りをし、非常食やパーティー、段ボールベッドなど用意していただき、くもぎコミュニティ自治会からは、参加者へ救急セットを提供してもらいました。</p> </div> <div style="width: 45%;">  <p>自分が避難に必要なと思う「持ち出し品」を、親と子どもがそれぞれに持ってきてもらいみんなで確認し合いました。お互いを見てこれは必要だったと思うものがあり、再確認できました。</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="width: 45%;">  <p>受付ではフェイスシールドを装着し、アルコール消毒と検温チェック、体調チェックも行いました。</p> </div> <div style="width: 45%;">  <p>大人は間仕切りパーティーの設置、子どもは段ボールベッドの組み立てをしました。</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="width: 45%;">  <p>子どもたちの段ボールベッドの組み立てはとても協力体制が良く、全員が声掛け合って自らしっかりと動くことができていました。くもぎコミュニティ自治会の方々にもお手伝いいただいたので、とても手際よく作業できました。</p> </div> <div style="width: 45%;">  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="width: 45%;">  </div> <div style="width: 45%;">  <p>試食をするために、非常食のわかめご飯に水を入れる作業と、できた非常食を配る作業を手伝いました。</p> </div> </div> 	
<p>講師ボランティア 関わった団体・組織・機関等</p>	<p>くもぎコミュニティ自治会 4名 金城支所 防災自治課 2名 公民館職員 3名</p>
<p>振り返り （良かったこと、反省点 など）</p>	<p>金城支所とくもぎコミュニティ自治会に協力してもらい、一緒に防災訓練できたことは非常に良かったです。防災に備える大切さや、避難所疑似体験をすることにより、避難所でのやるべき事や、やらなければいけない事などを子どもたちもまず知る事ができ、それによって実際動くこともできるので大変勉強になりました。子どもたちが率先して動いていたのと、親や地域の方との会話も増え上手に交流できたと思います。災害は来ないことが一番ですが、万が一に備える事はとても大切だということを学べた良い体験でした。</p>

## 9 今福公民館（放課後子ども活動支援・ふるさと郷育）

<p>【活動名】 【活動の主体・エリア】</p>	<p>今福児童クラブ×今福小学校地区3公民館連携夏休み事業 『熊の出前講座』 ～今福地区児童クラブ・金城中校区～</p>
<p>【めあて・目標】</p>	<p>児童クラブの夏休みの居場所づくりと地域住民との交流事業 ～熊出没が多発の中、夏休みの過ごし方を考える～</p>
<p>【子どもたちに身に付けさせたい力】</p>	<p>郷土愛・自尊心</p>
<p>【日時】 令和2年8月20日（木）13：30～15：40 （3部構成） 【場所】 今福公民館 多目的ホール 【参加人数】 今福小学校児童クラブ17名、指導員4名、県職員5名、市職員3名、地域住民3名 公民館スタッフ6名、連携主事1名</p> <p>県の専門員による『熊の出前講座』、金城町の実話を基にした絵本読み聞かせ、スカットボールの3部構成で行った。</p> <p>夏休み前に行う『今福小区ネットワーク会議』（今福小職員、児童クラブ職員、今福小区3公民館、民生委員、社協が集う場）で、熊の出没が頻繁で児童の夏休みの過ごし方が懸念される話題があり、3公民館で『熊の出前講座』を企画することとなった。</p> <p>事前に県職員、市職員、3公民館職員で児童に伝えたい熊の生態や、熊に出逢った時の自身の守り方、動物保護愛等を話し合った。児童が体験できる寸劇を交えたり、熊の剥製や毛皮、頭蓋骨等に実際に触れながらの質疑応答をしたり、児童が理解を深める工夫がされた。学びを提供する側の意欲も話し合いで高まった。</p> <p>また、ボランティアによる『かんたくんのいえ』絵本の読み聞かせを行った。その後、絵本の主人公の熊をお世話されていた地域住民のお話を聞いた。児童にとっては動物愛護や地域の環境を考えさせられる場面となり質問が多くみられた。地域住民にとっては児童のために実体験を話すことで自己有用感が得られた感想が聞けた。また寸劇に使う大道具等も当日来られなかった地域住民が準備し、スカットボールにも高齢者クラブの支援があり、多様な団体を巻き込むことで地域が一体となった共育を実現できた。行政に関わる事で広報の範囲も広まった。</p> <p>今後の課題は、児童クラブの職員も企画段階から関わることでより子どもの実態に寄り添う企画ができるようになるのではという反省点を活かし、他事業等でも連携を密にしていきたい。またコロナ禍で高齢者の参加を中止としたため、工夫しながら参加を促したい。</p>	
<p>講師ボランティア 関わった団体・ 組織・機関等</p>	<p>児童クラブ17名、職員4名、西部農林振興センター3名、浜田市金城支所産業建設課2名、今福地区まちづくり推進委員会1名、福寿会1名、舞笑会2名、今福小図書司書1名、地域住民1名、今福小地区3公民館6名、連携主事1名</p>
<p>振り返り （良かったこと、 反省点 など）</p>	<p>打合せを何度か重ね、県との打ち合わせ会では児童クラブの散歩コースに熊の出没ポイントがある事や、児童に何を理解して欲しいか、リラックスした雰囲気などで会を進めたいなど思いやねらいを共有できた。</p> <p>次回からは児童クラブの職員にも企画段階から一緒に参画していただけるよう働きかけたい。また、児童と一緒に地域住民にも講習を受けて頂けるような環境にしてより一層、地域一体となった共育を推進していきたい。</p>



参加体験型の講習の様子



熊の毛皮に横たわる職員の様子

## 10 波佐公民館（ふるさと郷育・休日子ども活動支援）

<p>【活動名】 【活動の主体・エリア】</p>	<p><b>夏休みに“まなびや館”で体験しよう</b> ～波佐公民館エリアの地域住民と波佐小学校1～6年生～</p>
<p>【めあて・目標】</p>	<p>地域の方々との交流を通して地域への関心を持ち、友だちと協力して活動する。</p>
<p>【子どもたちに身に付けさせたい力】</p>	<p>ふるさと愛（豊かな自然に気付く） 協調性（協力して活動する）</p>
<p>日 時：令和2年8月6日（木）8：45～15：00</p>	
<p>場 所：若生まなびや館 屋外 参加人数：波佐小学校児童1～6年生10人</p>	
<p><b>◆山女魚の内臓取り出しと串刺しをする</b></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="188 698 662 996"> <p>内蔵を出す時ちよつと 気持ち悪かったけど、 頑張りました。</p> </div> <div data-bbox="845 667 1423 963"> <p>山女魚がぬるぬるして 掴みにくかったので、 難しかったです。</p> </div> </div> <p>腹の中を洗い、竹串をさす。</p> <p>割箸2本を口から入れ、エラを押さえて奥まで刺しこみ、箸を回しながら内蔵を引きだす</p> <p><b>◆釜戸を使ってご飯を炊く</b></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="156 1191 603 1523"> <p>6年生のリーダー がマッチで着火！</p> </div> <div data-bbox="606 1131 1008 1429"> <p>初めにおどろ（小枝）を入れ、 着火して燃えてきたら少しずつ 木を入れ、火の勢いが出てきたら 大きい木を足していく。</p> </div> <div data-bbox="1056 1034 1455 1473"> <p>山女魚の塩焼き、焼きナス サラダ、トマト、塩むすび</p> </div> </div>	
<p>講師ボランティア 関わった団体・組織・ 機関等</p>	<p>若生町内住民、波佐公民館運営推進委員、連携主事</p>
<p>振り返り （良かったこと、 反省点 など）</p>	<p>昨年までは宿泊体験をしていたが、今年はコロナ禍ということで計画を縮小し、屋外でできる内容にして日帰りの体験学習にした。</p> <p>山女魚の串刺し体験や釜戸でのご飯炊きなど全員初めての体験だったが、互いに教え合ったり協力したりする姿が見られ頼もしさを感じた。</p> <p>高齢化が特に進んでいる若生町内では、子ども達と触れ合う機会が少なく「子どもたちの元気な姿が見られて嬉しかった、元気がもられた」という話も聞かれ、“子どもたちは元気の源”だと改めて気づかされた。</p> <p>これからも子ども達の成長を地域皆で支えていけるよう、継続した取り組みを進めたい。</p>

## 1 1 小国公民館（ふるさと郷育・家庭教育支援）

<p>【活動名】 【活動の主体・エリア】</p>	<p style="text-align: center;">おぐにふるさと学校</p> <p style="text-align: center;"><b>★親子で家族で生き物観察・川遊びをしよう★</b></p> <p style="text-align: center;">～雲城小学校対象～（コロナ禍の中での開催で内容変更や規模を縮小）</p>
<p>【めあて・目標】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然を活用し親子で宿泊体験や共同作業を行う事で、親子の絆を深める。</li> <li>・地域の若者を含め推進委員と一緒に計画を立て、事業継承の力をつける。</li> <li>・体験事業を行う事で、地域住民の自然を守る意識づけに繋がるようにする。</li> </ul>
<p>【子どもたちに身に付けさせたい力】</p>	<p>郷土愛、連帯感</p>
<p>日時：令和2年7月24日（祝・金） 9：00～12：00</p> <p>場所：小国公民館周辺 体育館</p> <p>参加人数：小学生27人 幼児10人 親23人 スタッフ17人</p> <p>○6月 3日 運営委員会 推進委員会で事業説明と企画 （3密を避けるためキャンプを中止し計画する事を決定）</p> <p>○6月 14日 環境美化作業 自治会/健生会/GG同好会/公民館</p> <p>○7月 2日 企画会（推進委員） 通年の生物観察と小国城山探索の案を出す。 話し合いの結果、例年通りの生物観察を中心に実施。</p> <p>○7月 23日 会場設営・準備 ⇒先日から天候が悪く雨で川の水量多いので 公民館裏にブルーシートで手作りプールを作る。</p> <p>【24日：当日】雨天の為、川遊び体験中止とする</p> <p>会場：体育館・公民館周辺</p> <p>内容：◇川の生き物観察 ⇒ 体育館において、小国川の生物・家古屋川（美又）の生物についてチラシを見ながら学習会を行った。（講師：栗栖館長他推進委員）</p> <p>◇魚の観察とつかみ取り ⇒ 前日準備をしていた、手作りプールに鮎とヤマメと近くで取った川魚を入れ観察をした。その後は年齢を分け時間制限を設けて、つかみ取りを行った。その後、昼食交流会を行う。密にならないよう家族ごとに分かれて簡単に昼食をして解散した。</p> <p>コロナ禍の中、時間短縮しての事業となったが事業を継承する事ができた。</p>	
<p>講師ボランティア 関わった団体・組織・機関等</p>	<p>公民館運営推進委員 10名・地域ボランティア 5名 自治会・健生会・GG同好会 教育委員会・金城分室・雲城小学校・おぐに保育園</p>
<p>振り返り （良かったこと、反省点 など）</p>	<p>◇コロナ禍の中、日程調整をしながら準備、運営を推進委員等と連携してできた。</p> <p>◇外部から講師を呼ばず自分達が講師になり行う事ができた。</p> <p>◇コロナ禍の中の開催なので、前日までに参加家族へ体調面や開催の連絡を入れた。</p> <p>◇入り口でコロナ対策を徹底して行い、当日の体調等聞いて参加してもらった。</p> <p>◇コロナ禍の中、関わったスタッフが真剣に取り組めたと感じた。</p> <p>◇継続事業が地域住民の協力で無事終了した事に感謝し、今後も皆の協力で行いたい。</p>



## 12 久佐公民館（ふるさと郷育・家庭教育支援）

<p>【活動名】 【活動の主体・エリア】</p>	<h3>案山子作り交流会</h3> <p>～久佐公民館エリアの保護者と小学生～</p>
<p>【めあて・目標】</p>	<p>案山子作りを通して交流を図るとともに、地域の賑わいを醸成する。</p>
<p>【子どもたちに身に付けさせたい力】</p>	<p>コミュニケーション力、ふるさと愛（ふるさとを大切にする心） 表現力（ものづくりの楽しさ）</p>
<p>日 時：令和2年7月19日（日） 場 所：久佐公民館 集会室 参加人数：大人10名 子ども10名 計20名</p> <p>久佐地区では、「地域に賑わいをもたらしたい」という思いから、地区のPTAと公民館が中心となって案山子作りを行っています。</p> <p>この取組がスタートして5回目となる今年の案山子のテーマは、『鬼滅の刃』。この案山子を作ることに決めたのは、事前会議で出た保護者の発案でした。PTAが企画・立案等を中心となって行い、公民館が活動をサポートする形で進めました。</p> <p>案山子作り当日は、自分たちの好きなキャラクターが作れると子ども達もノリノリでいろんなアイデアを出しながら作りました。今年の看板には「コロナに負けるな！」と力強いメッセージを加えて、沿道に設置しました。コロナの影響で昼食交流会は中止になり、自粛しながらの事業でしたが、みんなで作り上げた思い出に残る案山子になりました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">  </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">    </div>	
<p>講師ボランティア 関わった団体・組織・機関等</p>	<p>久佐公民館職員、久佐地区のPTA（保護者）</p>
<p>振り返り （良かったこと、反省点 など）</p>	<p>事前会議でいろんなアイデアが出て、それを実行することができて良かった。</p> <p>たくさんの地区外の方が見に来られ、写真を撮るなど賑わいました。案山子にテーマをもたせる事で、保護者や子ども達の意欲が湧き、活気が出たので、来年度に活かしたい。</p>

### 13 美又公民館の取組（ふるさと郷育・家庭教育支援）

<p>【活動名】 【活動の主体・エリア】</p>	<p><b>カッパ伝説の干し大根づくり♪&amp;昔ながらの臼と杵でもちつき♪</b> ～美又公民館エリアの地域住民と市内の親子～</p>
<p>【めあて・目標】</p>	<p>美又地区に伝わる「こうもん淵」の伝説にふれながら、地域の方が育てた「大根」を収穫し、カッパ伝説の干し大根を参加者でつくる体験と、昔ながらの杵と臼を使用してもちつきを行うことで異世代交流を行い、ふるさとへの関心を高める。</p>
<p>【子どもたちに身に付けさせたい力】</p>	<p>持続力、協力、ふるさと愛</p>
<p>日 時： 令和2年11月23日（月）9：30～13：00 場 所： 美又公民館 参加人数： 35名（内親子14名）</p> <p>美又地区では平成30年度の地域課題解決型公民館支援事業において「妖怪」をキーワードにしたことをきっかけに、【地域の魅力を発掘・再発見！】しようと妖怪プロジェクトを推進しています。</p> <p>今年度は、昨年、作成した「美又おさんぽ歩数マップ」に掲載の「こうもん淵」の伝説にふれながら、地域の方が育てた「大根」を収穫し、カッパ伝説の干し大根を参加者でつくる体験と、昔ながらの杵と臼を使用して、もちつき交流会を実施しました。</p> <p>今回は、県立大学生やそのOBも参加していただきました。大学生のうちの1人は、平成30年度の事業のスタート時に協力してくれた学生であり、この学生が他の学生に声をかけたことで新たなメンバーが参加することにつながりました。また、県立大学のOBの方も参加してくださったことで、この事業を通して先輩と後輩のつながりも生まれました。当日は、大学生が、子どもに手を貸して大根を抜く姿が印象的でした。</p> <p>また、干し大根づくりでは、地域の人に教わりながらお母さんやお父さんと一緒にワラに通したり、もちつきでは、交互に杵でついたり、全員でもちをмонで丸く整えたり、最後までできました。</p> <div data-bbox="906 562 1414 965"> </div> <div data-bbox="979 987 1414 1263"> </div> <div data-bbox="995 1249 1423 1375"> <p>子どもたちも冷たい水に手をつけ大根を洗いました。</p> </div> <div data-bbox="177 1496 576 1800"> </div> <div data-bbox="587 1496 1002 1800"> </div> <div data-bbox="1023 1496 1430 1800"> </div>	
<p>講師ボランティア 関わった団体・ 組織・機関等</p>	<p>公民館運営推進委員 12名、 美又地区住民 2名 県立大学生 4名+ OB 1名</p>
<p>振り返り （良かったこと、 反省点 など）</p>	<p>残念ながら、今回は小学生の参加がありませんでしたが、美又地区以外からも幼児をつれた親子や大学生が参加していただき楽しく交流ができました。子どもたちも途中で投げ出すこともなく最後までやり遂げたことに感心しました。</p>

## 1 4 今市公民館（地域学校協働活動・ふるさと郷育）

<p>【活動名】 【活動の主体・エリア】</p>	<p style="text-align: center;"><b>お米の秘密探検隊</b> ～稲作体験学習・生産者から話を聞く（坂本米）～【旭小学校5年生】</p>
<p>【めあて・目標】</p>	<p>○米づくりをとおして感じる楽しさや大変さを学び、旭の米の良さを気づき伝える。 ○米農家の話を聞き米づくりへの理解を深め、同時に地域への愛着を育む。</p>
<p>【子どもたちに身に付けさせたい力】</p>	<p>郷土愛、向上心</p>
<p style="text-align: center;">■ 年間計画打合せ 《日 時》4月16日（木）10:25～11:25 《参加者》旭小学校5年生担任、JA 経済センター、地権者、旭分室、公民館 《内 容》学校・地域ボランティアが計画を立て日程等を調整</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div data-bbox="167 562 805 1422" style="width: 48%;"> <p><b>活動概要</b></p> <p><b>I 稲作体験学習（圃場）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 結そ作り 10月 2日（金）14:00～15:00</li> <li>■ 稲刈り 10月 7日（水）10:30～12:00</li> <li>■ 脱 穀 10月 21日（水）10:30～11:20</li> </ul> <p>① JA しまね旭営農経済センターの水稲専門指導員に指導を受ける。（生育や稲刈り等） ② 地域ボランティアに農業技術的な指導・体験中の見守り（結そ作り、稲ハデ作り、ハデ架け）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>所感：今年度はコロナ禍の中で代かき、田植え体験が叶わず地権者に任せた。 地域ボランティアが体験をとおして、児童に伝授する姿や交流がみられた。</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>稲刈りの様子</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>脱穀の様子</p> </div> </div> </div> <div data-bbox="821 562 1460 1422" style="width: 48%;"> <p><b>II 稲作体験学習（バケツ栽培）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 苗植え 5月 20日（水）14:00～15:00</li> <li>■ 幼穂の観察 7月 27日（月） 9:30～10:30</li> </ul> <p>① JA しまね旭営農経済センターの水稲専門指導員に指導を受ける（栽培方法、生育等） ② 児童からの質疑応答</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>ハデ架けの様子</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>米の生育学習の様子</p> </div> </div> <p>※以下校内授業のみ バケツ栽培 刈取り→ハデ干し（乾燥）→脱穀→籾摺り→精米 工程は手作業で体験。（聞取り）</p> </div> </div>	
<p><b>III 生産者から話を聞く（坂本米）</b></p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div data-bbox="167 1444 614 1765" style="width: 48%;"> <p>■9月11日（金）8:40～9:25 産業建設課 係長 児島正俊氏</p> <p>「小さな農家の大きな挑戦～地域ブランド米のはじまり～」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 坂本米のブランド化始まるのプロセス</li> <li>② 行政の立場からの支援等について</li> </ul> </div> <div data-bbox="622 1444 1460 1765" style="width: 48%;"> <p>■9月14日（月）8:40～9:25 農事組合法人さかもとのもと 代表 河野幹夫氏</p> <p>『農家の生き残り 地域を残す』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 米作りへのこだわり・工夫</li> <li>② 地域への思い・情熱</li> <li>③ 坂本米のブランド化への取組</li> </ul> </div> </div>	
<p>講師ボランティア 関わった団体・組織・機関等</p>	<p>JA しまね旭営農経済センター センター長 幸田 誠（水稲専門指導員） 浜田市旭支所 産業建設課 産業振興係 係長 児島 正俊 農事組合法人さかもとのもと 代表 河野 幹夫</p>
<p>振り返り （良かったこと、反省点 など）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度はコロナ禍の事業となり、地域の関わりが制約を受けた。</li> <li>・年間計画打合せで、米作りを通して子どもたちに身に付けさせたい力を共有した。</li> <li>・圃場体験だけでなく、校内のバケツ栽培及び米ブランド化（坂本米）に取り組む団体等の多様な体験をして深い学びが可能になった。</li> </ul>

## 15 木田公民館（ふるさと郷育・家庭教育支援）

<p>【活動名】 【活動の主体・エリア】</p>	<p><b>わんぱく道場 親子で芋掘り体験！</b> ～旭5館連携事業～</p>
<p>【めあて・目標】</p>	<p>親子で農業体験をし、農家の苦労と収穫の喜びを知る。 地域の人との交流を通して、旭の良さやふるさとの温かみを感じる。</p>
<p>【子どもたちに身に付けさせたい力】</p>	<p>郷土愛、協調性</p>
<div style="display: flex;"> <div style="flex: 1;"> <p>開催日：令和2年10月18日（日） 午後1：30～3：00 場所：田村梨園周辺 参加人数：子ども28人 大人17人 &amp; ふぉ～ゆ～芋会のみなさん</p>  </div> <div style="flex: 2;">  </div> </div> <p>旭自治区の公民館 5 館の連携事業として実施。地域住民への協力依頼や当日までの連絡・調整等は、木田公民館が行いつつ、旭分室と 5 館連携主事とも連携をしながら準備を進めた。また、地域で活動をされている団体に、畑の用意や収穫までの作業を委託。マルチ敷き・苗植え・草抜き・水やりなど様々な作業をしていただき当日は事業のフォローをしていただいた。</p> <p>今年度は感染症予防対策も計画し、仮設の手洗い場を設置。その近くにこれまでの畑で行う作業の様子を写真で展示し、どんな作業をしてこの日を迎えたのかを伝えた。例年ならば当日その場で作るボランティアの「手作りおやつ」が好評だが、今年は感染症予防のため、おやつは作らなかった。</p>	
<p>講師ボランティア 関わった団体・ 組織・機関等</p>	<p>ふぉ～ゆ～芋会(木田地区住民)、旭分室、旭自治区公民館</p>
<p>振り返り (良かったこと、 反省点 など)</p>	<p>畑の用意は公民館職員も手伝うようにした。作業をしながら打ち合わせをこまめに行い、この事業のねらいや想いの共有もできた。感染症予防対策として検温、手洗い、消毒を徹底し、各々のマスク着用など、参加者全員の理解の上で事業を行う事ができた。子ども達にとっては、芋よりも楽しみな「宝探し」も芋掘りと同時に行うが、たくさん宝を見つけた子が、見つけられない子に譲るといった、子ども同士の他人を想える心の成長をみた。親子で行った芋掘り体験は、収穫の喜びを一緒に味わい、家庭でも食卓に並んだ時に家族でまた喜びを感じられると嬉しい。</p> <p>感染症を恐れて事業を中止にすることは簡単だが、感染予防の工夫など勉強になった。ボランティアにとっても、事業を通じて自分たちの喜びに繋がることを願う。</p>

## 16 和田公民館（まちづくり・ふるさと郷育）

<p>【活動名】 【活動の主体・エリア】</p>	<p><b>ふれあい集会</b> ～4団体協働事業（子ども会・地区社協・食改・公民館）～</p>
<p>【めあて・目標】</p>	<p>地域の方々と子ども達のふれあい交流を通して、あいさつや感謝する気持ちを育てる。</p>
<p>【子どもたちに身に付けさせたい力】</p>	<p>協調性・コミュニケーション力 地域力・あいさつ</p>
<p>日時：令和2年12月20日（日）9：00～12：30 参加人数：和田地区子ども会 13名、保護者7名</p> <p>「郷土食作り体験」やエコ推進隊の方々と「環境学習やエコバック作り」で交流した。</p> <p>「郷土食作り体験」では、昔から和田地区で親しまれているあられ作りを体験。高学年の子ども達があられを揚げ、砂糖をからませ、低学年の子ども達が袋詰めを行った。子ども達はパチパチとあられの揚がる音を楽しみながら、一生懸命に挑戦していた。このような活動を通し、次世代に郷土食を繋いでいきたいと改めて感じた。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div data-bbox="169 1207 632 1550" style="width: 45%;">  </div> <div data-bbox="651 1240 1428 1541" style="width: 45%;"> <p>「環境学習」では、『私達の身近にあるゴミについて』学んだ。 普段 何気なく捨てているゴミも、正しく分別できているのか？カードを使い、皆で話し合いながら行った。今、私達にできる事として、イラストやスタンプを使いエコバックを作成。少しでもゴミを減らす意識を持って欲しい。</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div data-bbox="922 600 1406 902" style="width: 45%;">  </div> <div data-bbox="922 920 1406 1223" style="width: 45%;">  </div> </div>	
<p>講師ボランティア 関わった団体・ 組織・機関等</p>	<p>食改2名、地区社協1名、地域ボランティア1名、環境課1名、はまだエコライフ推進隊3名</p>
<p>振り返り （良かったこと、 反省点 など）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前に子ども会・地区社協・食改の代表者が集まり、ふれあい集会を行う事で、子ども達に【挨拶をする】と【感謝する気持ちを持つ】の2つの事を身に付けて欲しいと共有する。</li> <li>・環境学習では「自分の意見を伝える事」や「他の意見を聞く事」ができていた。高学年がリーダーシップを取り、まとまりがあった。</li> <li>・事業を通し、子ども達と地域の人達が顔見知りになり、安心して暮らせる地域にしていきたい。</li> </ul>

## 17 都川公民館（地域学校協働活動・ふるさと郷育）

<p>【活動名】 【活動の主体・エリア】</p>	<h3>都川の棚田学習</h3> <p>～都川地区住民と旭小学校～</p>
<p>【めあて・目標】</p>	<p>米作りを通してその楽しさや大変さを感じるとともに、旭の米の良さを広めるために活動することができる。</p>
<p>【子どもたちに身に付けさせたい力】</p>	<p>郷土愛、連帯感（地域の良さを知り、他者に伝える。命を大切にする。人や動植物にやさしくする。）</p>
<p>毎年、旭小学校の5年生が棚田学習を行っており、その際の連絡・調整を公民館が行った。例年、お世話になっている地元の棚田オーナーに公民館から協力の依頼をし、電話で学校と打合せを行った。</p> <p>当日は、子どもたちは見学をしながら棚田オーナーと質疑応答する時間を設けた。帰りのバスの中では、質疑応答の続きで、同じく都川住民で棚田オーナーでもある館長が子どもたちの質問に答えた。</p> <p>実施内容      6月18日 旭小学校と実施内容の打ち合わせ                            7月21日 9:00～11:00                                          棚田百選「熊ヶ谷の棚田」「大屋形の棚田」「田代の棚田」の見学と棚田オーナーとの質疑応答</p> <p>出席者            5年生児童 21人、引率教員 2人、地域住民 2人、公民館職員 2人</p> <p>質疑応答        質問：なぜ都川の棚田は石垣棚田なのですか                            回答：狭い土地で多くの耕作地を確保するためには、法面よりも石垣を垂直に積む方がたくさん確保できます。                            質問：農作業を楽に行うために何か工夫したことがありますか。                            回答：3年前から病虫害駆除の農薬散布をドローンで行っています。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="256 1207 691 1545">  <p style="text-align: center;">「田代の棚田」</p> </div> <div data-bbox="850 1207 1362 1556">  <p style="text-align: center;">「熊ヶ谷の棚田」</p> </div> </div>	
<p>講師ボランティア 関わった団体・組織・機関等</p>	<p>棚田百選「熊ヶ谷の棚田」「大屋形の棚田」「田代の棚田」のオーナー</p>
<p>振り返り （良かったこと、反省点 など）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 普段は歩けない田んぼのあぜ道を歩き、貴重な体験ができたと思う。</li> <li>・ 配布した資料と棚田オーナーの説明はわかりやすかった。</li> <li>・ 米作りへの関心と郷土への愛着が深まったと思う。</li> </ul> <p>【小学校のコメント】</p> <p>棚田の中を実際に歩かせていただき、その美しさや歴史を体感することができた。それぞれの棚田を作っておられる方の話も聞け、地域の宝を守っていこうとする方々の熱意も感じることもできた。</p>

## 18 市木公民館（地域学校協働活動・ふるさと郷育）

<p>【活動名】 【活動の主体・エリア】</p>	<p><b>市木探検</b> ～市木公民館エリアの地域住民と旭小学校2年生～</p>
<p>【めあて・目標】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の地域には様々な場所があり、様々な人がいることに気付く。</li> <li>・市木探検を通して、地域の場所や人に親しみを持ち、適切に接したり、安全に気をつけて生活したりしようとする。</li> </ul>
<p>【子どもたちに身に付けさせたい力】</p>	<p>郷土愛（自分の地域の良さを見つける力、地域の場所や人に親しみを持ち、適切に接する力）</p>
<p>【日 時】 令和2年10月26日（月） 9：30～11：30</p> <p>【場 所】 市木神社・向井しいたけ園・青葉バラ園</p> <p>【人 数】 旭小学校2年生 26人</p> <p>学校から公民館に依頼があり、例年協力をしていただいている地域にある3か所に依頼をした。地域とは、地域住民でもある館長が、依頼や調整を行った。学校とは、主事が連絡・調整を行った。</p> <p>10月26日（月）、旭小学校2年生と地域ボランティアの方々と、市木神社・しいたけ園・バラ園を探検しながら、3.1kmの道のりを歩きました。</p> <p>それぞれの場所で、神社のことや菌床しいたけ・バラの栽培の様子などを説明していただき、児童たちは真剣に話を聞いて、思ったことなどを質問していました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <p>市木神社では、みんなで幹回り5.1mの大杉を囲いました。</p> <p>しいたけ園とバラ園では、経営者の方から栽培の様子などを説明していただいたあと、ハウスの中を見学させていただきました。温度なども管理されていて、ポカポカ暖かかったです。摘み取ってもいいバラを摘み取らせてもらい、持ち帰りました。</p>	
<p>講師ボランティア 関わった団体・組織・機関等</p>	<p>市木神社宮司1名・向井しいたけ園1名・青葉バラ園2名 市木公民館運営推進委員1名 旭分室職員1名</p>
<p>振り返り （良かったこと、反省点 など）</p>	<p>短い時間の中で3カ所を巡って、市木という地域を知り、たくさんの人と交流ができ、子どもたちは楽しく学ぶことができました。</p> <p>また、久しぶりに地域で子どもたちの賑やかな声を聞くことができました。</p> <p>子どもたちとの交流を図るためにも、地域ボランティアの方の人数を増やせるよう取り組んでいきたい。</p>

## 19 杵束公民館（地域学校協働活動・まちづくり）

<p>【活動名】 【活動の主体・エリア】</p>	<p style="text-align: center;"><b>弥栄の未来を考える</b> ～持続可能なまちづくりに私たちができること～（弥栄中学校1年）</p>
<p>【めあて・目標】</p>	<p>弥栄の現状を知るとともに、課題に取り組みながら弥栄の特色を生かした生き方について自分の考えをまとめ、地域の人に情報を発信する。</p>
<p>【子どもたちに身に付けさせたい力】</p>	<p>郷土愛、向上心、自尊心、情報発信力、対話力、思考力</p>
<p>日時：令和2年9月24日（木）9：30～12：30                  場所：弥栄中学校（PCルーム、美・技術室）、弥栄支所、弥栄会館、老人憩いの家                  参加人数：弥栄中学校1年生 5人</p> <p>事前に、弥栄自治区長より、弥栄の現状・強み・課題を教えてもらった。その後、テーマを3つに絞り専門の方々に話を聞き、体験をさせてもらい、「ひと・もの・こと」に触れた。その上で、生徒たちは、課題を見つけ、深く調べていた。</p> <p>当日は、3つのグループに分かれて活動した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○まちづくり                      弥栄の自然と人の魅力を伝えるため、プロモーションビデオを作った。                      このプロモーションビデオは、弥栄の朝市等で流し、地域の方々に見てもらった。</li> <li>○林業                      浜田市の木を使ったモノ作りに挑戦した。学校で使うベンチやゴミ箱を作った。                      木のぬくもりあふれる作品ができ上がった。</li> <li>○防災                      弥栄にある備蓄倉庫の内、3つの備蓄倉庫を見学した。                      弥栄支所・弥栄会館・老人憩いの家の方々に備蓄倉庫の特徴や以前あった災害時の様子等話をもらった。</li> </ul> <p>3つのグループともに、活動の最後に質問タイムを設けた。                  後日、弥栄中学校の学習発表会にお世話になった講師の方々を呼び、生徒たちの考えや体験して分かったことなど、まとめを発表した。</p>	
<p>講師ボランティア 関わった団体・ 組織・機関等</p>	<p>石央森林組合3名、弥栄支所3名、杵束公民館運営推進委員1名、 地域住民3名、杵束神楽社中、弥栄の朝市「や市」の出店者</p>
<p>振り返り (良かったこと、 反省点 など)</p>	<p>事前に弥栄自治区長に弥栄の現状・強み・課題を覚えてもらうことで、今自分たちの住んでいる町の状況を把握できた。その上で、「ひと・もの・こと」に触れたので、課題が見つけやすかったのではないかなと思う。</p> <p>例年、講師の方々にはまとめ発表を、披露する場がなかったが、今年は学習発表会に呼び、披露できて良かった。</p> <p>この授業が2年生3年生と段階を踏んで、色々な角度から深く弥栄を知り、もっと弥栄に愛着を持つことができるようになれば、さらに良いと思う。</p>



## 20 安城公民館（勉強の場所づくり・放課後子ども支援）

<p>【活動名】 【活動の主体・エリア】</p>	<p><b>放課後子ども教室 マジスクール</b> ～弥栄小・中学生～</p>
<p>【めあて・目標】</p>	<p>家庭学習の習慣化・苦手科目の克服 放課後の居場所づくり</p>
<p>【子どもたちに身に付けさせたい力】</p>	<p>集中力、持続力、あいさつ</p>
<p>日 時：令和2年6月～令和3年3月 毎週月曜日放課後 場 所：弥栄会館 参加者（登録者）：弥栄中学校生徒 6人 弥栄小学校児童 16人</p> <p>弥栄小学校・中学校は月曜日の下校時刻が他の曜日より早い日が多く、その時間を利用して主に学習支援（第1目標：学校の宿題を終わらせる。第2目標：+αプリントなど）を行っている。支援員として5名の地域住民、ボランティア1名、長期休業中などには高校生も関わっている。教室が終わってからご家族が迎えに来るまでの間は、小・中学生と一緒に遊ぶ姿が見られた。</p> <p>公共施設である弥栄会館へ帰って来るので、サークル活動中の地域の方々と会ったり、館内で会議をしている部屋があったりと、あいさつやマナーを学ぶ場所にもなっている。</p> <p>今年度は、新型コロナウイルスの影響で4月・5月は休止となり、6月から子どもたちの元気な声が聞こえるようになった。来年度も、感染対策をしながら子どもたちの帰る場所として継続していきたい。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>下校が一番早い小学1・2年生は、公民館の事務室内で勉強をします。主事が見守りをします。碁を打ちに来られた地域の方と相席することもあります。</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>小学3～6年生と中学生は、地域の支援員さんから勉強を教わります。</p> </div>	
<p>講師ボランティア 関わった団体・組織・機関等</p>	<p>協働活動支援員5名、ボランティア1名、高校生ボランティア2名</p>
<p>振り返り （良かったこと、反省点 など）</p>	<p>年度当初はなかなか集中できず、宿題だけ終わると遊び始めていた子どもたちも、徐々に、宿題+プリントをする習慣ができてきた。</p> <p>支援員のみなさんも、教室での子どもたちの様子を共有し、教材の提案や支援の方法など、意見を出し合いながら進めた。</p>

## 2 1 三隅公民館（まちづくり・休日子ども活動支援）

<p>【活動名】 【活動の主体・エリア】</p>	<h3>第4回防災フェスタ</h3> <p>～三隅地区まちづくり推進協議会・三隅地区～</p>	
<p>【めあて・目標】</p>	<p>【子ども】 参加した子どもたちが、地域の人への感謝やふるさとへの愛着を醸成するとともに、自分の命は自分で守るという意識を高める。</p> <p>【地域ボランティア】 地域ぐるみで子どもを育み、共に高まりあう意識の醸成。主体的に社会参画、貢献しようとする意識の醸成。</p>	
<p>【子どもたちに身に付けさせたい力】</p>	<p>郷土愛（地域にとけこみ、大人と活動を共にする） 向上心（自分で考える。自分で決める）</p>	
<p>日時：令和2年8月7日（金） 9：30～14：00 場所：三隅公民館 人数：子ども35名 大人スタッフ25名</p> <p>平成29年7月の豪雨の際に子ども達が避難所でとった行動や近年各地で起こる災害を鑑みて、子ども達の防災意識を上げること、そして子ども達の持つ力を地域へ還元させることを目的に行っている。今年で4年目になる。</p> <p>まちづくり協議会環境育成部を中心に地域ボランティアが集まった。当日の朝に再度スタッフ会議を行って役割を確認した。例年とは違い、コロナウィルス感染症対策を取り入れた内容となった。密を避ける工夫としてグループごとに各部屋に分かれて集まり、移動の際も放送で合図を送りながら一斉に動くことで感染リスクを少なくした。体験内容はハイゼックスを使用した炊き出し訓練、煙体験、起震車体験、防災士のお話の4つ。煙体験や起震車体験を怖がる子どももいたが「大丈夫？頑張ってみようよ」と促す声や「頑張ったね」と褒める声を大人スタッフからかけられていた。今年は最初から最後まで少人数グループで仕切って行ったことで、大人と子どもとの距離が近かったように感じた。子どもができないところを「〇〇さんここ手伝って」と自分の口から言える関係作りができていた。</p> <p>2年任期のまちづくり協議会の活動として行うことで、役員が変わる度に子どもと関わる地域の大人が増えていく。今後も地域の一役となる子ども達を地域の大人が育てていく活動を続けていきたい。</p>		
 <p style="text-align: center;">スタッフ会議</p>		
 <p style="text-align: center;">グループごとで活動</p>		
 <p style="text-align: center;">炊き出し訓練の様子</p>		
<p>講師ボランティア 関わった団体・ 組織・機関等</p>	<p>三隅地区まちづくり推進協議会 浜田市福祉推進協議会三隅支所 三隅小児童クラブ</p>	<p>防災士 浜田市消防本部西部消防署三隅出張所</p>
<p>振り返り （良かったこと、 反省点 など）</p>	<p>コロナウィルスが拡散しないように今年行事の中止が多かった。この事業をきっかけに感染症対策を取り入れながら行事を行うことにシフトチェンジできた。</p> <p>地域ボランティアから「久しぶりに子どもの声が聞けた」「元気がでた」と明るい声を聞くことができた。積極的に呼びかけることはできないが、不安を軽減させる工夫を行いながら今後も大人と子どもを会わせる機会をつくりたい。</p> <p>まちづくりスタッフの中に保護者の顔があった。地域の人達や近所の子どもに関心をもつきっかけとして子ども対象の地域行事に参加するよう呼びかけていきたい。また、若い世代を取り込む機会にもしたい。</p>	

## 2 2 三保公民館（ふるさと郷育・休日子ども活動支援）

<p>【活動名】 【活動の主体・エリア】</p>	<p>きらめき！子ども体験教室 「イルミネーションの飾りを作ろう」 ～三保公民館エリアの地域住民と三隅小学校の児童～</p>
<p>【めあて・目標】</p>	<p>地域を明るく楽しくするイルミネーションの飾りを、地域の方々と子どもたちが協力しながら作るを通して、豊かな想像力と感性を身に付け、ふるさとを思いやる心を育てる。</p>
<p>【子どもたちに身に付けさせたい力】</p>	<p>ふるさと愛、思考力・判断力、協調性・コミュニケーション</p>
<p>【日時】 令和2年12月19日（土） 9：30～11：30 【場所】 三保公民館 小ホール 【参加人数】 三隅小学校児童・三隅小児童クラブ 13名 【活動内容】 毎年公民館で点灯しているイルミネーションの飾りを三隅小校区の児童と三保地区のボランティアさんが協力して作りながら交流した。 事前に公民館職員と地域ボランティアの方でリースや松ぼっくり飾りの作り方・当日の流れ・安全面について話し合いを行い、実際に見本を作っておいたので活動の手順をより確認することができた。子どもたちは難しいところを地域の方に教わり協力しながら作ることができた。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="178 1093 849 1303" style="border: 1px solid blue; padding: 5px;">  <p>事前にボランティアの方と飾り作り。「こうしたら～」「これもいいかなあ～」と話が弾みました。</p> </div> <div data-bbox="949 645 1428 981" style="border: 1px solid blue; padding: 5px;">  <p>「リース作り」</p> </div> </div> <div style="border: 1px solid green; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>「リースの形がいいね！」「モールの飾りがすてき」など、声をかけてもらった子どもたちは楽しく工夫しながら活動できました。</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div data-bbox="172 1348 491 1617" style="border: 1px solid blue; padding: 5px;">  <p>☆点灯されたイルミネーションは、人々の心を明るく楽しませ、地域を温かく見守ってくれるかのように光輝いていました。</p> </div> <div data-bbox="869 1191 1428 1415" style="border: 1px solid blue; padding: 5px;">  <p>「色んな形の松ぼっくりの飾りつけ」</p> </div> </div> <div style="border: 1px solid green; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>色んな形・色のビーズをグルーガンでのり付け。グルーガンを上手に使う子どもたちに地域の方もびっくり。アイデアを出し合ってすてきな飾りつけができ、子どもたちは地域の方にたくさん褒めてもらいながら、みんなで楽しい時間を共有できました。</p> </div>	
<p>講師ボランティア 関わった団体・組織・機関等</p>	<p>三保地区住民 三隅小児童クラブ支援員 三保公民館職員</p>
<p>振り返り (良かったこと、反省点 など)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前に打ち合わせ会を行ったことで、どんなことが問題になるか、どんなふう に子どもたちと関われば良いかなど共通理解をすることができた。</li> <li>・子どもたちからは、「地域の人と飾りを作れて楽しかった」「地域の人に手伝って もらって上手にできたので嬉しかった」「また一緒にやりたい」などの感想 が聞かれ、子どもたちとの関りを増やしながら思い出作り・地域への愛着へと つなげていくことの大切さを感じた。</li> <li>・今後は子どもたちの豊かな創作力を引きだす手立てを大人も考えていきたい。</li> </ul>

## 23 岡見公民館（ふるさと郷育・休日子ども活動支援）

<p>【活動名】 【活動の主体・エリア】</p>	<h3>お月見どろぼう</h3> <p>～岡見公民館エリアの地域住民～</p>	
<p>【めあて・目標】</p>	<p>季節の行事を地域の人と交流しながら体験することで、自分も地域の 一員であるという気持ちを醸成する。</p>	
<p>【子どもたちに身に 付けさせたい力】</p>	<p>ふるさと愛、自己有用感</p>	
<p>日 時：令和2年10月3日（土）17：30～19：30 場 所：岡見公民館～公民館周辺 参加人数：58名 子どもたちが、地域のお宅の玄関先などに置いてあるお供え物を「どろぼう」するお月見の行事を、岡見風にアレンジして行った。</p> <p>① 事前に協力者宅へお菓子を持って行き、置き場所や当日のスケジュールを確認する。 ② 当日は、お話し会の後、岡見流のルール説明をして、出発。</p>		
<p>【ルール】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どろぼうするお家に入る際「こんばんは、お月見どろぼうです！」と挨拶すること。</li> <li>・お菓子等をいただいたら、お礼を言うこと。</li> <li>・夜道は暗いので、自分の班のリーダー（ここでボランティア紹介）に必ずついていくこと、車とイノシシに注意すること。</li> </ul>	<p>お話し会では、お月見のお話を聞きます。</p> 	<p>こんばんは～お月見どろぼうです！</p> 
<p>普段登下校で歩く道でも、暗いと様子が違うようで、子どもたちはもちろん、同伴した保護者も楽しんでいた。</p> <p>協力いただいた方だけでなく、お家におられた方からも、「子どもたちの声が聞こえて賑やかだった」「次回は参加したい」という声も聞かれ、この事業が続くと確信した。</p> <p>終了後、ぜんざいを振る舞い、参加者同士で交流する時間も取った。今後は、参加者や協力者からの意見も取り入れ、住民主体の恒例行事として継続していきたい。</p>		
<p>講師ボランティア 関わった団体・ 組織・機関等</p>	<p>おはなしの会そらまめ 中山自治会</p>	
<p>振り返り (良かったこと、 反省点 など)</p>	<p>今回2回目の開催となるが、場所を提供してくださる方々がみな快く引き受けてくださり、公民館から用意したお菓子以外に、各自でも用意をされ、地域の子 どもたちに喜んでもらいたいという思いが伝わった。</p> <p>コロナ禍でイベントが数々中止される中、参加者も多く、子どもたちもとても満足していた。もちろん、感染症予防対策もしっかり行った。当日のボランティアの方々にも、「子どもたちと活動ができて楽しかった！」「来年も参加したい！」という声をいただいた。</p>	

## 2 4 井野公民館（地域学校協働活動・ふるさと郷育）

<p>【活動名】 【活動の主体・エリア】</p>	<p style="text-align: center;"><b>井野に出かけよう！</b> ～三隅小学校1年生・井野地内～</p>
<p>【めあて・目標】</p>	<p>地域の自然に親しみ、興味をもってすすんで秋の自然探しをする。</p>
<p>【子どもたちに身に付けさせたい力】</p>	<p>ふるさと愛（積極的に自然と触れ合う、地域住民との交流）</p>
<p>日 時：令和2年10月30日（金）9時～11時30分 場 所：井野公民館周辺（市道上今明バス停付近～県道303号塩頭バス停付近、公民館グラウンド） 参加人数：三隅小学校1年生22人</p> <p>生活科の学習として、1年生全員と自然観察指導員の資格を持つ地域住民1名で自然探しを行った。当日は、指導員が独自の観察会を計画してくれ、児童たちの探求心をかきたてるような内容であったし、季節にあった植物ビンゴをとおし(小学校作成)、指導員に積極的に質問する児童たちの姿勢は、目標に沿った授業内容となった。</p> <p>公民館内の振り返りで、自然観察指導員の資格を持つ地域の方が協力してくれ助かったが、三隅町内には何人かおられるとの情報を頂いたので、次回は、地域は違っても依頼してみようということになった。(数人おられればグループを作り行動しやすくなるし、目も届きやすいという理由)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;">  <p style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">野外活動であったが、ソーシャルディスタンスを保っての活動を行った。</p> </div> <div style="width: 45%;">  <p style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">積極的な質問で地域の方と交流。 児童たちの「知りたい」気持ちが見て取れた。</p> </div> </div> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">  </div>	
<p>講師ボランティア 関わった団体・組織・機関等</p>	<p>自然観察指導員（NACS-J）の資格を持つ地域住民（1名）</p>
<p>振り返り (良かったこと、反省点 など)</p>	<p>小学校が下見に来られた時、自然観察指導員もたまたま来館しており、一緒に授業内容の確認や打合せができたのでよかった。</p> <p>現状は、地域に植物等に詳しいボランティアがいても、高齢化により出歩くことが困難になってきている。今後も継続して行っていくためには、井野地内でもなくても気軽に依頼できる個人や団体とつながっておく必要があると感じた。</p>

## 25 黒沢公民館（ふるさと郷育・まちづくり）

<p>【活動名】 【活動の主体・エリア】</p>	<p style="text-align: center;"><b>古くから地域に伝わりとんど焼き</b> ～黒沢公民館エリア及び地縁のある住民とその子ども達～</p>
<p>【めあて・目標】</p>	<p>日本の伝統的な正月の生活文化であり、地域の行事として今に伝わる「とんど焼き」を通して、子ども達が地域の方々と交流を深め、正月の生活文化について関心を持たせる。</p>
<p>【子どもたちに身に付けさせたい力】</p>	<p>ふるさと愛（地域の良さを知り、豊かな感性を身につける。） 感謝（地域の大人と活動を共にし、感謝する心を育てる。）</p>
<p>日時：令和3年1月10日（日） 10：00～11：30 場所：黒沢公民館前の三隅川河川敷（通称：かっぱランド） 参加人数：21名（うち小学生2名、未就学児1名）</p> <p>年はじめの地域行事として毎年行っている「とんど焼き」に、黒沢地域に縁のある子ども達が、正月飾りや書き初めなどを持って集まりました。正月飾りなどを丁寧に積み上げ、心を込めて火入れを行い、空高く上っていく煙や青竹の爆ぜる音に、今年1年の“無病息災”“五穀豊穰”をみんなで願いました。</p> <p>子ども達は、伝統的な正月文化を守り伝えていこうとする地域の方々に、「とんど焼き」を行う意味や目的などを教わるとともに、地域の方々の温かい人間性に触れながら行事を楽しんでいる様子でした。少子高齢化が著しい地域であり、近年は子どももいなく参加が難しくなっていますが、生涯学習・異世代交流の場としてこれからも継続していきたい大切な事業の1つです。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="252 1272 869 1585">  <p>地域の方が、ぜんざいをふるまってくださいました。雪が舞う寒い日でしたが、ご厚意に身体も心も温まりました。</p> </div> <div data-bbox="954 631 1417 922">  <p>小学生がお話を聞いて、真剣に火入れを行いました。</p> </div> <div data-bbox="954 945 1417 1281">  <p>書き初めを燃やした火の粉が高く舞い上がると、字が上達するといわれています。</p> </div> <div data-bbox="954 1294 1417 1594">  <p>地域の方が持ち寄った鏡餅をとんどの火で焼いて食べ、今年1年の“無病息災”を願いました。</p> </div> </div>	
<p>講師ボランティア 関わった団体・ 組織・機関等</p>	<p>黒沢公民館運営推進委員会 黒沢まちづくり委員会</p>
<p>振り返り （良かったこと、 反省点 など）</p>	<p>恒例の地域行事として定着しているため、参加された地域の方々は段取り良く準備を進められていました。</p> <p>例年は、「とんど焼き」の後、公民館内でぜんざいなどをふるまっていますが、コロナ禍のため、全てを河川敷で行いました。大変寒い中でしたが、近年では珍しく雪が降り積もり、風情ある景色の中で子ども達は楽しみながら伝統的な正月文化について学び、地域の方々とも交流を深めていました。</p>

## 26 白砂公民館（地域学校協働活動・ふるさと郷育）

<p>【活動名】 【活動の主体・エリア】</p>	<p style="text-align: center;"><b>西条柿の魅力本を作ろう！（副読本）</b> ～白砂地域内 西条柿生産者・公民館～</p>
<p>【めあて・目標】</p>	<p>地域の基幹産業である西条柿を学びに来る小学校3年生がわかりやすい共通の資料を作ることで、児童・生産者どちらも授業に取り組みやすくなる。</p>
<p>【子どもたちに身に付けさせたい力】</p>	<p>郷土愛</p>
<p>日時：通年 毎月各生産者が担当 場所：生産者 西条柿農園</p> <p>三隅小学校、岡見小学校、周布小学校などから毎年小学校3年生の児童が総合学習、社会科などの授業時間を使って柿園、選果場の見学に来る。毎年柿園の担当生産者が変わる中、共通の資料がないため、伝え方に苦心していた。また、手元資料がない為、児童によってはメモが追いつかず授業の理解度に差があった。西条柿の副読本を生産者と作ることで今後もふるさと郷育に地域全体で取り組める。</p> <p>毎月柿園の仕事や西条柿の成長を写真や文章で紹介し、生産者の顔写真とコメントを掲載することで児童に親しみを持ってもらいやすい紙面づくりを心掛けた。</p> <p>栽培方法の記載に間違いが無いかなどを農林振興センター、小学校3年生にとってわかりやすい表現かを浜田市の教育委員会に毎月確認してもらい修正した。</p> <p>選果場の様子は写真ではなく、柔らかいタッチの手書きにすることで、わかりやすくなった。</p>	
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div data-bbox="153 1055 488 1518"> </div> <div data-bbox="504 1055 831 1518"> </div> <div data-bbox="847 1055 1441 1518"> <p>副読本の完成は令和3年3月を予定。</p> </div> </div>	
<p>講師ボランティア 関わった団体・組織・機関等</p>	<p>地域生産者 13名 三隅支所産業建設課 監修：西部農林振興センター主任農業普及員 浜田市教育委員会生涯学習課 JAしまね美川選果場 挿し絵 丸澤みゆき様</p>
<p>振り返り (良かったこと、反省点 など)</p>	<p>1年間地域全体で取り組む事で、職員も西条柿についてより深く理解ができ、今後、地域の子どもたちへも魅力を発信していけるようになった。</p> <p>担当してくれた生産者の中には「うちはよそとはちがって小さい柿園だけえ…」と遠慮の声も聞かれたが、写真を撮らせてもらったり実際の紙面をサンプルで持って行ったりすると皆さん喜ばれ、近所に姿は無くても子どもたちとつながっている実感を持ってもらえたのではないかと思います。</p> <p>来年度以降、学校の授業や産業振興など多方面で活用してもらえることを楽しみにしている。</p>